文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付 学術基盤整備室長 土井 大輔

文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長の土井でございます。このたびは、第85回私立大学図書館協会総会・研究大会の開催に際し、心よりお喜び申し上げます。

御参加の皆様におかれましては、日頃より、学術文献へのアクセス確保や快適な学習環境の提供等、大学の教育研究活動を支える重要な学術情報基盤である大学図書館の管理・ 運営に御尽力いただいておりますこと、この場を借りて感謝申し上げます。

現在、世界的なオープンサイエンスの潮流の中で、学術情報流通を取り巻く状況は大き く変化しており、大学図書館は、いかにこれらに対応するかが求められています。オープ ンサイエンスは主にオープンアクセス (研究論文のオープン化) と研究データのオープン 化の2つの観点で考えられます。これらの推進は国際イニシアチブでも検討され、令和5 年 5 月の G7 首脳コミュニケや科学技術大臣会合共同声明において、オープンサイエンス の推進や拡大について言及されました。その後、内閣府を中心に我が国のオープンアクセ ス方針の検討が進められ、令和5年10月には総合科学技術・イノベーション会議有識者 議員の連名で「公的資金による学術論文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な 考え方」が示され、令和 6 年 2 月には「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向 けた基本方針」(統合イノベーション戦略推進会議決定)及び同基本方針の実施にあたっ ての具体的方策(関係府省申合せ)が公表されました。本方針においては、科学研究費助 成事業、戦略的創造研究推進事業及び創発的研究支援事業を対象に 2025 年度新規公募分 からの学術論文等の即時オープンアクセスの義務付け、研究成果発信のための研究デー タ基盤システムの整備・充実の支援、海外の大手学術出版社に対する大学を主体とした集 団交渉の体制の構築の支援などが示されています。また、検討課題として、即時オープン アクセスが困難な学術論文及び根拠データの取扱、即時オープンアクセスの対象となる 根拠データの範囲、機関リポジトリ等の情報基盤への掲載が困難な研究者への対応、即時 オープンアクセスの実施状況の把握が挙げられ、現在内閣府を中心に、文部科学省や資金 配分機関等が協力して検討を進めているところです。

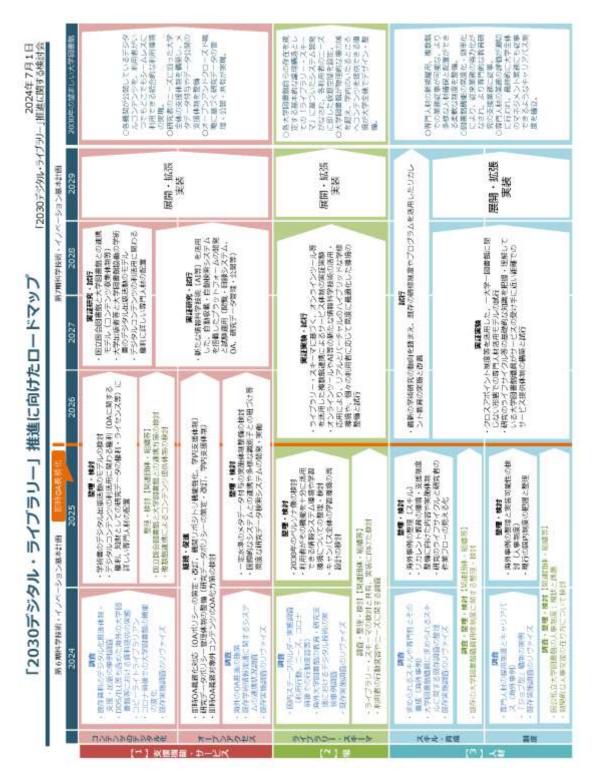
その他、大学図書館に関連する最近の動向を少し御紹介させていただきます。図書館サービスの充実、発展等の御参考になれば幸いでございます。

はじめに、令和5年度補正事業「オープンアクセス加速化事業」についてです。本事業は大学の研究成果の管理・利活用機能や学内の連携体制を強化することによって、研究成果のオープンアクセスを促進する取組です。非常に短い公募期間にも関わらず、93件と多くの申請をいただき、厳正な審査の結果83件(うち私立大学は20件)が採択となりました。今後、各採択大学における取組状況等を把握させていただきたいと考えております。

次に、学術情報基盤としての大学図書館についてです。令和5年1月の「オープンサ イエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)」において、大学図 書館は 2030 年度を目途に「デジタル・ライブラリー」 を構築することが掲げられました。 「デジタル・ライブラリー」とは、これまでの電子図書館構想を更に進め、コンテンツの デジタル化を経た結果として意識される、運営やサービス、職員の知識やスキルの変革な どを内包する形で自身の DX を推進する大学図書館のことを指します。令和 5 年 6 月に は、「『2030 デジタル・ライブラリー』推進に関する検討会」を設置し、「新しい『デジタ ル・ライブラリー』の実現に向けて検討すべき課題」を整理し、大学図書館等が目標の達 成に向けて何を実現すべきか段階的に示したロードマップの作成を進め、令和6年7月 1日に文部科学省ウェブサイトにて第一次バージョンを公開いたしました(図参照)。本 ロードマップでは、優先的に取り組むべき領域として【1】支援機能・サービス、【2】場、 【3】人材を設定したうえで、一大学の一図書館に閉じない形で連携・協力することを「デ ジタル・ライブラリー | の実現に向けての有力な手段として位置付けています。 本ロード マップは、今後の大学図書館を取り巻く環境の変化に応じて改訂されうるものでござい ますが、2030年における大学図書館のあるべき将来像の実現に向けた発展的な取組の実 施や展開のための出発点やヒントとしてご活用いただければ幸甚です。

最後に、学術情報基盤実態調査でございます。本調査は、大学の学術情報基盤の実情を 把握し、今後の学術情報基盤の整備に係る政策の立案・推進に資することを目的として毎 年実施しておりますので、回答への御協力をお願い申し上げます。

皆様におかれましては、引き続き関係者と連携いただきつつ柔軟な図書館運営をお願い申し上げますとともに、本総会・研究大会が皆様にとって有意義なものとなりますこと、併せて私立大学図書館協会及び各加盟館の益々のご発展と皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。



図「2030 デジタル・ライブラリー」推進に向けたロードマップ (2024 年 7 月 1 日「2030 デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会)

【参照】文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付. "「2030 デジタル・ライブラリー」推進に向けたロードマップ". 文部科学省ホームページ. 2024.7. https://www.mext.go.jp/content/20240701-mxt\_jyohoka01-000036744\_2.pdf.pdf, (参照 2024-07-19).